

## 第4章 明日をになう心豊かな人づくりと文化を育むまち

### 1 生涯学習

#### 現 況

- ・生涯学習は、幼児期から高齢期までの生涯にわたる広範な領域において、家庭・職場・地域などで行われるすべての学習活動ばかりではなく、スポーツ活動・文化活動・趣味・レクリエーション活動・ボランティア活動などの中でも実践されるものです。本町では、「利尻富士町生涯学習推進計画」を策定し、町民の生涯にわたる学習を支援しています。
- ・毎年様々な種類の生涯学習講演会を開催しています。
- ・乳児（6ヶ月）検診時にブックスタート事業として絵本を配布し、子育てを支援しています。
- ・高齢者の「いきがい学級」は、社会福祉協議会・福祉課・教育委員会が協力して事業を行い、異世代との交流や利尻の歴史などの学習機会も提供しています。

#### 課 題

- ・子育て中の親同士が気軽に交流ができ、学び合える場を設定する必要があります。
- ・各世代の多様な学習ニーズの把握に努め、新たな学習情報の提供や学習支援、相談体制の充実を図っていく必要があります。
- ・学習の成果が個人にとどまる傾向にあるため、活用する手立てを講ずる必要があります。

#### 主要な施策

主要な施策	施策の内容
学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・乳幼児を対象とした絵本の配布</li><li>・幼児対象図書の実充や子育て支援の拡充</li><li>・レクリエーション等への親子参加の拡大推進</li><li>・多様化する学習ニーズに対応した学習機会の提供</li><li>・高齢者いきがいづくりの実充</li></ul>
推進体制の整備充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・自主的活動を推進するための関係機関・団体等との幅広い連携・協力</li><li>・生涯学習情報の提供体制の確立</li><li>・生涯学習を推進する指導者の人材育成</li><li>・地域づくり・まちづくり等への参画</li></ul>

\*ブックスタート事業 ... 絵本を通じ赤ちゃんと楽しい時間を分かち合い、親子のふれあいをさらに深めてもらうことを目的とした事業。

## 2 学校教育

### 現 況

- ・少子高齢化、情報化、国際化の進展や地球環境問題など、社会のさまざまな変化が児童生徒の教育環境にも影響を与えています。また、教育基本法の改正など学校教育を取り巻く環境が大きく変化する中で、「利尻富士町教育目標」を指針とし、「利尻富士町学校教育推進計画」に基づく基礎的・基本的な学力の定着に加え、自ら学び主体的に学習する力を培い一人ひとりの個性を伸ばしていくことや、学校の特性や地域の自然・文化を生かしたふるさと教育など、特色ある学校教育に取り組んでいます。
- ・町内小中学校5校のうち本泊小学校と利尻小学校は複式校であり、鴛泊小学校を除く各校の児童生徒は減少傾向にあります。
- ・コンピューター機器の整備を図り、情報化に向けた教育を推進しているほか、外国語指導助手(ALT)による生の英語指導を実践し、国際社会で活躍できる人材の育成を推進しています。

### 課 題

- ・鴛泊小学校を除く全校とも児童生徒数は減少傾向にあることから、関係者の意見を十分考慮し適正配置について検討する必要があります。
- ・安全管理対策や防災拠点を視野に入れた施設整備の検討が必要です。
- ・不登校やいじめ問題に対応するための「スクールカウンセラー」等の配置の検討が必要です。
- ・障がいのある児童生徒の社会的な自立を目指すための、「特別支援教育を推進する必要があります。
- ・食について考える習慣や知識、食を選択する判断力を身につけるための「食育」学習を推進する必要があります。
- ・奨学金(育英資金)制度の周知を図るとともに、制度の円滑な運営を推進する必要があります。
- ・小学校における英語教育を推進する必要があります。
- ・コンピューター機器や教材等の充実により、情報教育の環境づくりを推進する必要があります。
- ・教職員住宅を改築する必要があります。
- ・スクールバスの更新が必要です。

### 主要な施策

主要な施策	施策の内容
学校教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報教育、国際理解教育など、時代に対応できる教育の充実</li><li>・コンピューター機器の更新</li><li>・各学校施設・設備の整備充実</li><li>・スクールバスの更新</li><li>・教職員の研修及び健康管理の充実</li><li>・教職員住宅の整備</li></ul>

<p>学校教育内容の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会変化や地域の特性を取り入れた創意ある教育課程づくりや学校経営の充実</li> <li>・ 学校を通じた地域間交流やボランティア活動の推進</li> <li>・ 食育学習の推進</li> <li>・ 中学校での外国語指導助手（ALT）による英語の語学指導の充実及び小学校での英語教育の推進</li> <li>・ 不登校やいじめ問題に対応するため、スクールカウンセラーなどを配置し、児童生徒や保護者が相談しやすい体制づくりの推進</li> <li>・ 複式教育の充実</li> <li>・ 特別支援教育の推進</li> </ul>
<p>学校安全体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが安心して教育を受けられるよう、家庭や地域のボランティアと連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備</li> </ul>

\* 特別支援教育 ... LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等も含め、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行う教育。

### 3 社会教育

#### 現 況

- ・ 少子高齢化社会の進行、家庭・地域の変容、高度情報化の進展など多様化する社会の中で、幼児期、青少年期、成人期、高齢期、それぞれの時期に応じた学習を行い、心身ともに健やかで心豊かな人生を送るためには、ゆとりのある質的に充実した教育環境づくりが必要です。また、余暇時間の増大などを背景として、誰もがより豊かな人生を過ごせるよう、地域課題を踏まえた学習機会の提供が求められています。
- ・ 町内 9 の少年団体と 5 の青年団体がそれぞれ独自の活動を展開しているほか、ふるさと運動グループや青年ボランティアクラブなどは自主的にボランティア活動を展開しています。
- ・ 青少年の健全育成に積極的に取り組んでいる利尻富士町青少年健全育成町民会議への支援・助成を行っています。
- ・ 北海道ジュニアリーダー育成事業や小樽市・利礼 3 町児童交流事業への参加・助成を行っています。
- ・ 鬼脇公民館は、地域における学習・文化の中核施設として地域に密着した仲間づくりができるよう、各団体と連携・協力しながら、かるた、しめ飾り教室など様々な事業を展開しています。
- ・ 本庁舎と公民館に図書コーナーを設けており、町民が気軽に利用することができます。

#### 課 題

- ・ 児童生徒数の減少などにより町内少年団体の構成員の確保が難しい現況にあります。
- ・ 青年団体の存続とリーダーの養成拡大を図る必要があります。
- ・ 青少年の社会参加を促したり、世代間交流を促進し、社会性や確かな人間性を育む学習機会の提供に取り組む必要があります。
- ・ 公民館活動はいろいろ工夫しながら実施していますが、より参加しやすい学習の場や機会の提供と年齢層に配慮したメニューの構築が課題です。
- ・ より多くの町民が気軽に利用できるような図書室の整備や蔵書の充実を図る必要があります。

#### 主要な施策

主要な施策	施策の内容
生涯各期における学習活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校・家庭・地域の連携強化</li> <li>・ 地域課題に対応した学習機会の提供</li> <li>・ 離島ならではの地域特性を生かした研修・講座・教室の開催</li> <li>・ 専門的な能力を持った指導者の養成</li> <li>・ 島外交流事業の推進</li> <li>・ 青少年健全育成活動の推進</li> <li>・ ボランティア活動の促進</li> <li>・ PTA との連携強化</li> </ul>
社会教育施設の基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中核的な社会教育施設である鬼脇公民館の機能充実と整備の検討</li> </ul>
図書館機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者ニーズや社会変化に応じた施設・体制・蔵書の充実</li> <li>・ 図書ボランティアの育成</li> </ul>

## 4 学校給食

### 現 況

- ・昭和 48 年に本町と利尻町との共同で開設された利尻郡学校給食共同調理場は、平成 16 年度に全面改築を施し最新の衛生設備を備えた施設です。
- ・最新設備が導入されたことに伴い、職員の衛生に対する意識が格段と向上しています。
- ・近年の給食食材は、児童生徒の嗜好拡大により多種多様に及んでいますが、人体に影響を及ぼすような問題のある食材も存在することから、安全で安心のできる食材を確保するため常に情報収集に努めています。

### 課 題

- ・近年の原油価格の高騰により、施設の運営コストや食材の価格が急激に上昇しているため、給食費の見直しを検討する必要があります。
- ・地場産食材の導入を促進していますが、数量等の関係で容易に利用できない場合もあります。

### 主要な施策

主要な施策	施策の内容
給食メニューの充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童生徒のニーズを把握したメニューの充実</li><li>・給食費の見直しの検討</li></ul>
栄養教諭の活動体制の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校・PTAとの連携を図りながら、各学校の年間計画の中に栄養教諭による食育指導を盛り込み、 *食育学習を推進</li></ul>
施設機能の維持及び衛生管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"><li>・設備・機材等の計画的な更新</li><li>・職員の健康管理や衛生管理の徹底</li></ul>

\* 食育 ...国民一人一人が、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や、食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身に付けるための学習等の取組み。

## 5 歴史・文化

### 現 況

- ・芸術文化は、町民がゆとりと潤いを実感できる心豊かな生活を実現し、自分自身を充実させていくための活動であり、町民の自主的・創造的な文化活動を支援していくことが必要となっています。本町では、文化協会を中心に多種多様な活動が展開されていますが、その取り組みに対し、情報提供をはじめとする支援を行っています。
- ・小学生・中学生を対象とした北海道巡回小劇場などを開催し、生の芸術文化に直接触れる機会を提供しています。
- ・町文化協会に対する助成を行い、豊かな人間性の育成に取り組んでいます。
- ・郷土の歴史・文化を理解し親しむことは、地域への愛着を深め、積極的なまちづくりへの参加を促す効果が期待されています。本町では、長い歴史の中で育んできた貴重な文化財を後世へ伝承していくため、文化財標識の整備など文化遺産の保全に努めています。
- ・町内外に埋もれている貴重な郷土資料の収集・調査を行い、利用できるものは郷土資料館、りっぷ館、温泉保養施設などの公共施設での展示や学校教材として活用しています。また、学芸員による出前講座や町広報などを通して、広く町民に公開しています。
- ・文化財だより「ポンモシリ」の発行や町広報紙での文化財関連記事の掲載をはじめ、町文化財紹介冊子「りしりふじの文化財」全編をホームページ上で公開しています。
- ・鴛泊中心市街地活性化事業による埋蔵文化財調査を実施し、貴重な文化遺産の資料収集と公開に努めます。

### 課 題

- ・各種文化活動団体の活動支援をはじめ発表の場の確保や、様々な文化鑑賞の機会を増やして行く必要があります。
- ・文化遺産の収集・保管や公開体制などを検討する必要があります。
- ・経年変化による劣化が懸念される文化遺産の保全・整備を推進する必要があります。

### 主要な施策

主要な施策	施策の内容
芸術文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化意識の高揚と多様な鑑賞機会の拡充</li> <li>・文化協会や各種サークルの組織強化、リーダーの育成や活動支援の充実</li> <li>・ニーズに即した教室・講座の開設</li> </ul>
文化施設の整備・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発センター・公民館・カルチャーセンター・りっぷ館・北のシーマなど文化活動施設の整備及び利用促進</li> </ul>
文化遺産の調査・保全・公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鴛泊中心市街地活性化事業による埋蔵文化財調査を実施</li> <li>・既存の文化遺産はもとより新たな文化遺産の発掘・保全</li> <li>・出前講座や展示会など文化遺産を広く町民に公開</li> <li>・文化遺産や行政資料の収集・展示施設の確保</li> </ul>

## 6 スポーツ・レクリエーション

### 現 況

- ・町民がスポーツ・レクリエーション活動を通じて、健康と体力の維持・増進を図りながら楽しみを生み出し、仲間同士のふれあいや地域との交流を深めることで、より豊かな生活を過ごすことが重要となっています。本町には、総合体育館、野球場、パークゴルフ場、スキー場などさまざまなスポーツ施設があり、多くの町民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しんでいます。
- ・各スポーツ関係団体と連携を図りながら、スポーツ大会・行事などの事業を積極的に支援・推進しています。
- ・小学生を対象とした水泳教室を開催しています。
- ・体育協会、スポーツ少年団、さわやかマラソン大会実行委員会などに対する助成を行っています。
- ・各スポーツ団体指導員の技術向上に努めています。
- ・経年変化により老朽化した施設も見受けられます。

### 課 題

- ・町民誰もがいつでも・どこでも気軽に参加できる、自己の年齢や体力・目的に応じた生涯スポーツの実践が求められています。
- ・指導者育成のための研修や各種大会の誘致などスポーツ活動の支援・推進を図る必要があります。
- ・地域の特性を活かしたレクリエーション活動の支援や施設整備の検討が必要です。
- ・老朽化した施設については、その都度修繕で対応しているが、建替えを含む抜本的な整備を検討する必要があります。

### 主要な施策

主要な施策	施策の内容
スポーツ団体や活動サークルの育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・団体やサークルの育成支援と指導者の育成</li><li>・年齢や体力に応じた生涯スポーツの充実</li></ul>
スポーツ教室や各種イベントの充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツニーズの把握や各種教室の内容充実</li><li>・スポーツ・レクリエーション大会等イベントの充実</li><li>・温泉プールを利活用した健康・体力づくりの推進</li></ul>
施設の整備と有効活用	<ul style="list-style-type: none"><li>・スポーツ・レクリエーション施設整備の検討</li><li>・体育施設の利用・管理運営方法の検討</li><li>・学校体育施設開放の推進</li></ul>